

審査委員(予定)



委員長 本保 芳明
国連世界観光機関(UNWTO)
駐日事務所代表

Adam Fulford
Fulford Enterprises CEO

石原 義郎
(株)航空新聞社 取締役 編集長

太下 義之
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
芸術・文化政策センター長

久保 成人
公益社団法人日本観光振興協会理事長

清野 智
日本政府観光局(JNTO)理事長

関口 和一
(株)日本経済新聞社編集委員

高田 佳幸
(株)日本政策投資銀行地域企画部長

田川 博己
一般社団法人日本旅行業協会会長

野口 直良
独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)理事

浜野 京
内閣府政策参与(クールジャパン戦略担当)

森下 晶美
東洋大学国際観光学部国際観光学科教授

涌井 雅之
東京都市大学特別教授

*観光庁より1名就任予定
(敬称略・五十音順)

受賞のメリット

1. ツーリズムEXPOジャパン会場内で「ジャパン・ツーリズム・アワード受賞」をアピールできるため、外部からの評価向上及び新たなビジネスパートナーの発掘につながります
2. 受賞後、3年間は受賞のロゴを利用できるので、外部パートナーやお客様からの信頼が高まります
3. 主催三団体からあらゆる機会を通じて広報されるので、受賞団体・組織内でモチベーションの向上につながります
4. ツーリズムEXPOジャパンホームページで受賞取組の紹介をします
5. 国土交通大臣賞・観光庁長官賞およびUNWTO倫理特別賞(署名団体に限る)はUNWTO本部アワードへの応募推薦をします

受賞者の声

- ・受賞後、お客様や地域の関係者等からの信頼度が向上した。(観光案内業者、観光協会)
- ・従業員のモチベーションが向上し、業務の質に変化があった。(観光案内業者、宿泊、観光協会)
- ・他地域から講演やパネラーの依頼を受けた。(自治体、観光案内業者)
- ・地元のTV局・新聞から取材申込を受けた。(自治体、DMO、旅行会社)
- ・行政や関連機関からの連携依頼があり協業事業が増えた。(旅行会社、観光案内業者)
- ・お客様から声を掛けられる機会が増えブランディング効果があった。(宿泊、旅行会社)
- ・自治体の広報誌に取り上げられた。(地域協議会、DMO)



ツーリズムEXPOジャパン2018
会場内での展開例(阿智昼神観光局)

ジャパン・ツーリズム・アワード大賞一覧

第1回 (2015年)

瀬戸内国際芸術祭実行委員会
瀬戸内国際芸術祭の
開催による地域再生の取組



草間彌生「赤かぼちゃ」2006年 直島・宮浦港緑地
写真:青地 大輔

第2回 (2016年)

飛騨高山国際誘客協議会
官民協働での
外国人観光客の誘致・受入



第3回 (2017年)

南三陸ホテル観洋
「震災を風化させないための
語り部バス」による地域交
流活性化の取組



第4回 (2018年)

一般社団法人雪国観光圏
地域連携DMOによる
新たなブランドづくり
「真白き世界に隠された知恵
に出会う」



問い合わせ先(担当窓口)

ジャパン・ツーリズム・アワード 募集事務局

TEL: 03-5246-7221 E-Mail: info@jta.event-infodesk.com 受付時間/平日 10:00~18:00

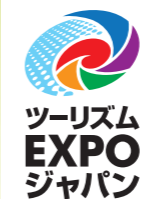


2019年度 第5回「ジャパン・ツーリズム・アワード」 ＜社会の持続的発展に貢献するツーリズム＞

ツーリズムEXPOジャパン

募集要項

募集期間: 3月15日~5月31日



「ツーリズムEXPOジャパン2019大阪・関西」開催概要

〈開催日〉2019年10月24日(木)~27日(日)
〈会場〉INTEX OSAKA(インテックス大阪)
〈主催〉公益社団法人 日本観光振興協会(JTTA)
一般社団法人 日本旅行業協会(JATA)
日本政府観光局(JNTO)



第4回「ジャパン・ツーリズム・アワード」大賞受賞 一般社団法人雪国観光圏

このたびは栄えある賞をいただきたいへんに光栄に思います。豪雪地域の住民にはむしろ「負」に見えてしまう雪国。私たちは地元の意識変革を目的として事業を続けています。この受賞と一緒に働くメンバーの励みになり、また雪国に住む人の誇りに繋がれば幸いです。

代表理事 井口 智裕



(表彰風景 左:田川ツーリズムEXPOジャパン実行委員長 中央:井口氏 右:ミス日本)

2019年度 第5回「ジャパン・ツーリズム・アワード」募集要項

趣旨

国内外の人々の交流が日々拡大する中で、観光は雇用機会の創出、社会経済の活性化、相互理解の深化を実現させ、日本のみならず世界の成長戦略として位置付けられています。

ツーリズムの発展には旅行業、運輸・宿泊業のみならず自治体、農林水産業、製造業、サービス業、IT産業など幅広い分野の産業・組織が関与しており、その裾野の拡大は目を見張るばかりです。

本アワードはツーリズムの発展・拡大に貢献し、「ツーリズムEXPOジャパン」とのシナジー効果に寄与、または国内・海外の団体・組織・企業の持続可能で優れた取り組みを表彰するものです。受賞取り組みを広く社会に知らしめることで、ツーリズムへの理解を進めると同時に、モデルとしてさらなるツーリズムの発展に寄与することを目的とします。

各賞(予定)

<p>国土交通大臣賞 1本 表彰盾と副賞が授与されます</p>	<p>観光庁長官賞 国内・訪日領域 2本 海外領域 1本 表彰盾と副賞が授与されます</p>	<p>入賞 各部門1~5本程度 表彰状が授与されます</p>
<p>エクセレントパートナー賞 1本 表彰盾が授与されます</p>		
<p>特別賞 各賞1~3本程度 表彰状が授与されます</p>		
<p>DMO 推進特別賞 地域の観光振興を推進するDMOの優れた取組を表彰します</p>	<p>デジタル活用特別賞 デジタル・テクノロジーを活用して観光振興を進めている取組を表彰します</p>	<p>UNWTO 倫理特別賞 観光を通じて地域社会の課題解決・価値向上を進めている優れた取組を表彰します。 *UNWTO観光倫理憲章 http://unwto-ap.org/資料・統計/世界観光倫理憲章/</p>
<p>学生の選ぶジャパン・ツーリズム・アワード 1本 表彰状が授与されます 観光を学ぶ学生代表審査委員20名が独自の目線で優れた取組を選定します</p>		

スケジュール

応募締切 2019年5月31日(金) 23:59 厳守

*応募データ登録時刻による
*締切間際の応募は、通信状態により締切に間に合わない場合がありますのでご注意ください

2019年8月上旬 各賞ノミネート取組発表	2019年9月上旬 最終選考会	2019年9月中旬 最終選考結果発表	2019年10月24日 表彰式 (ハイアットリージェンシー大阪)
--------------------------	--------------------	-----------------------	--

応募方法

ツーリズムEXPOジャパン2019の公式ホームページにある応募フォームに従って必要事項を入力の上、応募ください
画像等の添付も応募フォームよりアップロードできます

ツーリズムEXPOジャパン2019公式ホームページ
<https://www.t-expo.jp/biz/program/award.html>

右のQRコードでもアクセス可能です。

*1 添付写真の添付については容量25MBを最大とします
*2 応募段階で事業開始から1年以上の取組を応募条件とします
*3 数値実績の記入は必須です
*4 入力の中でも応募内容の保存および変更ができます

審査について

応募資料をもとに観光を始めとする各界の有識者で構成する審査委員会(審査委員長:本保芳明国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所代表)にて各賞を決定し、表彰します

審査ポイント

審査を行う上での選定ポイントは次の4ポイントです

<p>先駆性・創造性</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆今までにない気づきの取組で、新しいマーケットを創造しているか? ◆消費者のニーズにマッチしているか? ◆オリジナリティにあふれているか? 	<p>持続性</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆継続した取組で成果を残しており、その結果、交流拡大につながっているか? ◆市場環境の変化に合わせ、今後とも継続できるか? <p>*最長で直近5年間の取扱人数、来訪者数、取扱件数、実施回数、観光消費額・経済効果を記入ください</p>	<p>発展性</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ベスト・プラクティスとして、さらなる進展・拡大を期待できるか? ◆異業種との連携などさらなる進展が期待できるか? 	<p>社会性</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆地域の課題解決や魅力づくりに貢献しているか? ◆歴史・文化遺産の保全、環境保護、人材育成、ユニバーサルデザイン、ダイバーシティなど持続可能な社会の実現に貢献しているか?
---	---	--	--

応募について

ジャパン・ツーリズム・アワードは次の領域・部門で募集を行います。

応募領域・部門

<p>領域について</p> <p>国内・訪日領域 国内旅行および訪日外国人旅行の拡大・活性化への取組</p>	<p>海外領域 日本からの海外旅行需要の拡大・活性化への取組</p>
---	---

▼各部門の対象と取組事例 《重要》応募段階で1年以上経過の取組を対象とします

国内外の交流人口の拡大や、ツーリズム業界の価値向上に大きく貢献した、事業性のある取組を大賞とします

応募対象
旅行会社、運輸・交通機関、宿泊、流通、食品、ICT、農林水産業・加工業、伝統工芸、みやげ制作・販売、出版、放送、新聞、メディア制作などの各種産業でツーリズムの拡大に資する事業展開をし、かつ成果を残している企業、団体、個人
※数値成果は、ツアー実施数、誘客実績(外国人旅行者数や団体本数など)をご記入下さい

取組事例
シリーズ型旅行商品企画・販売、着地型観光商品開発、デジタルを活用したサービス提供、イベント創出などMICEへの取組、訪日外国人誘客への取組、産業観光、エコ・ツーリズム、ユニバーサル・ツーリズム、スポーツ・ツーリズム、フード・ツーリズムなど様々なテーマツーリズムによる交流拡大への取組、観光人材育成、宿泊機会拡大への取組、ラグジュアリー・マーケットへの取組、エンターテインメント・ビジネス、震災復興プログラム、番組および映画制作、ガイドブック、書籍、小説、マンガ、写真集など

国・地域の観光関連組織が一体となって進める魅力ある観光地域づくりや、国・地域固有の観光資源を活かした総合的地域活性化に結びつく取組を表彰します

応募対象
国・政府、観光局、大使館、自治体、観光協会(機構)、DMO、NPO法人、フィルム・コミッション、スポーツ・コミッションなど地域固有のコンテンツを活用あるいは発信して交流拡大に成果を残している組織、団体、個人
※数値成果は、誘客効果(人数・団体数)、経済波及効果などをご記入ください

取組事例
DMOなどによる観光地域づくり、地域独自のコンテンツを活用したプロモーション(デジタル映像、ポスターなど)、地域の伝統・文化・工芸の伝承への取組、地域特産物を活用したプロモーションやイベントの実施、ゆるキャラなどを活用したプロモーション、障害者にやさしい観光地域づくり(ユニバーサル・ツーリズム)、訪日観光客受入拡大施策(プロモーション、インフラ整備、おもてなしなど)、震災復興プログラム、観光人材育成など

補足事項

1. 法人格の有無は問いません
2. 複数の団体・企業の共同の取組も対象にします
3. 連続応募も可能です
(前回からの応募からの取組内容の進展の明示が必要です)
4. 受賞取組の連続応募も可能です(ただし、事業の拡大・発展を条件とします)
5. 同一団体・組織でも取組内容が異なる場合は複数案件の応募も可能です



●SDGsとは

社会の持続的発展を目指し、国連が2030年までに達成するために掲げた目標でSustainable Development Goalsの略です。17の目標と169のターゲットが定められていますが、ツーリズムが目標達成に果たす役割は大きいと考えられています。

<https://imacocollabo.or.jp/about-sdgs/>

●連携アワード(それぞれの応募者に対し、相互にアワードの紹介をする予定です)

- スポーツ文化ツーリズムアワード(主催:スポーツ庁・文化庁・観光庁)
- エコツーリズム大賞(主催:環境省・日本エコツーリズム協会)
- 産業観光まちづくり大賞(主催:全国産業観光推進協議会)

